



平成26年3月期 決算説明会資料

G-7 HOLDINGS INC.

<http://www.g-7holdings.co.jp>

■ 平成26年3月期の業績について

単位：百万円

	H26年03月期実績	前年同期比 増減率	H26年3月期 期初予想	期初対前期比 増減率	対予想増減率
売上高	88,178	6.7%	86,000	4.1%	2.5%
営業利益	2,900	10.6%	2,800	6.8%	3.6%
経常利益	3,139	7.0%	3,000	2.3%	4.6%
当期純利益	1,541	14.6%	1,500	11.5%	2.7%

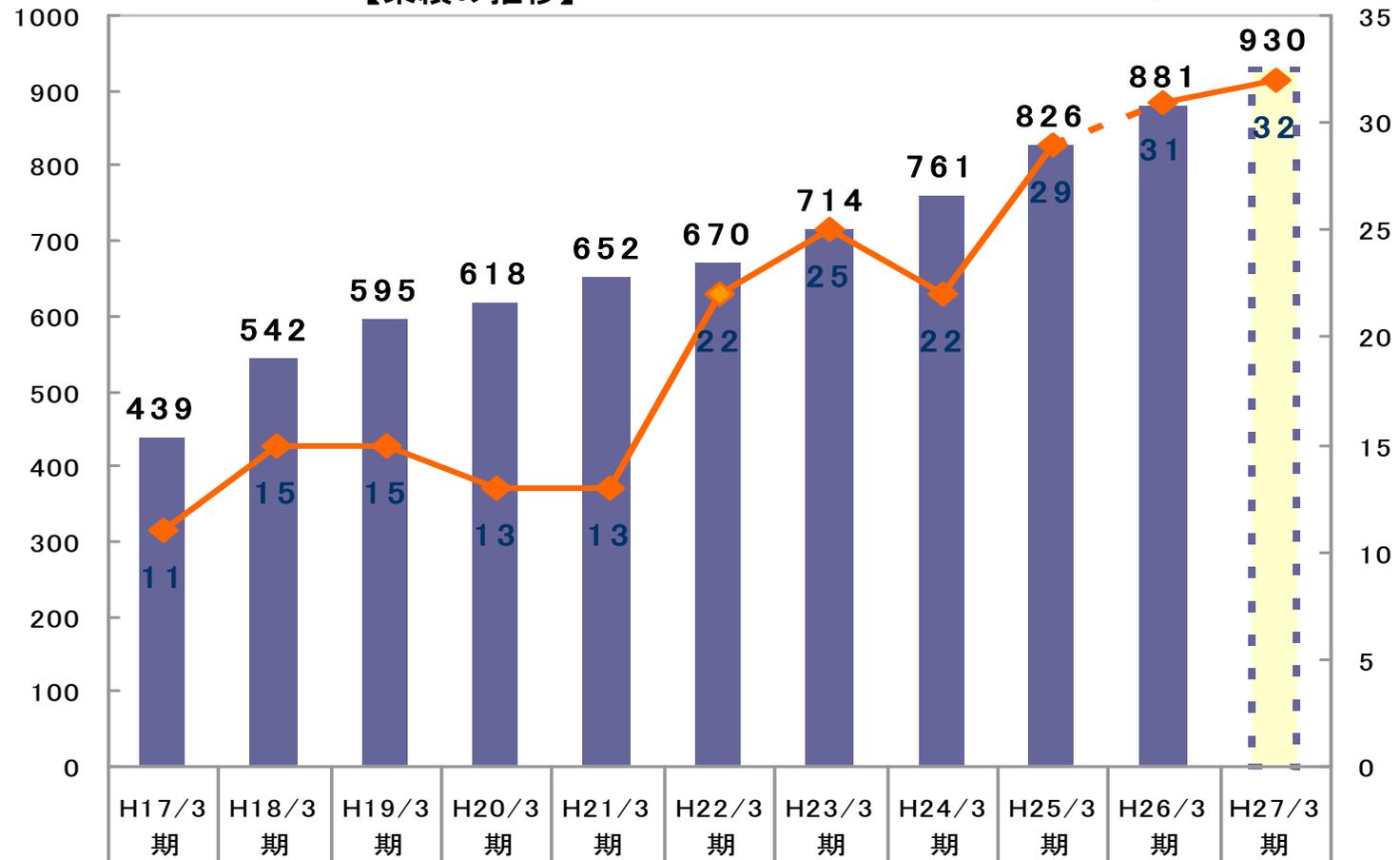
売上増加主要因

1. 国内オートバックス事業の拡大（国内オートバックス関連5店舗開店、車販売、車検好調）
2. 国内業務スーパー事業の拡大（業務スーパー6店舗開店、1店舗リニューアル）
3. G-7食品システムの収益寄与（こだわり食品メーカーの発掘および卸販売先の開拓）
4. 消費税の駆込み需要

過去最高業績を達成

【業績の推移】

単位：億円



■ 売上高	439	542	595	618	652	670	714	761	826	881	930
◆ 経常利益	11	15	15	13	13	22	25	22	29	31	32

セグメント別の業績

株式会社 G-7 ホールディングス



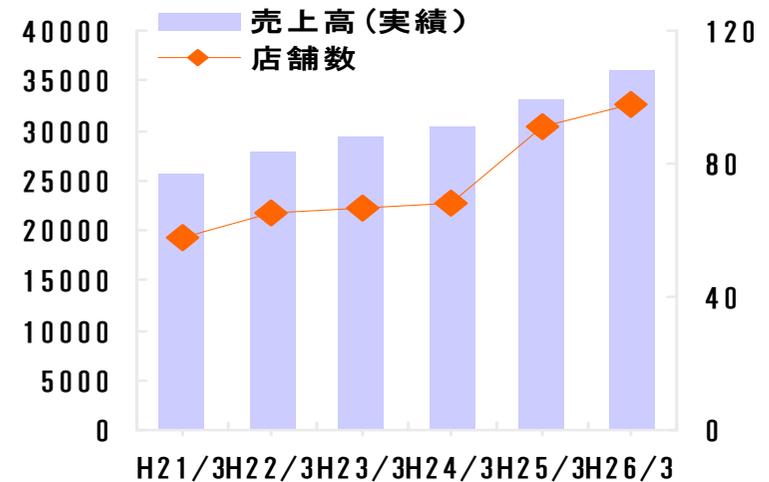
単位：百万円

	売上高	増減	対前期 増減率	営業 利益・損失	増減	対前期 増減率
オートバックス 車関連	35,958	+2,806	8.5%増	1,885	+167	9.8%増
業務スーパー こだわり食品関連	49,262	+2,801	6.0%増	1,396	+141	11.2%増
その他	2,957	-53	1.7%減	-62	+92	(好転)

	実績	前期	増減
売上高	35,958	33,152	+2,806
営業利益	1,885	1,718	+167
店舗・拠点数	99	91	+8

※店舗・拠点数、オートバックス・車関連（クリスタルセブン、カーズブース、テクノキューブ他）・バイクセブン含む
（単位：百万円、店舗数）

■店舗数と売上高の推移



概況

・上期は、エコカー補助金制度による新車販売の反動により低迷したが、新規出店、降雪(11月~2月)、3月の消費税駆け込み需要で売上増。

(前年比：車検159%、車販売120%、板金111%、ホイール108%、タイヤ107%、ガソリンスタンド211%)

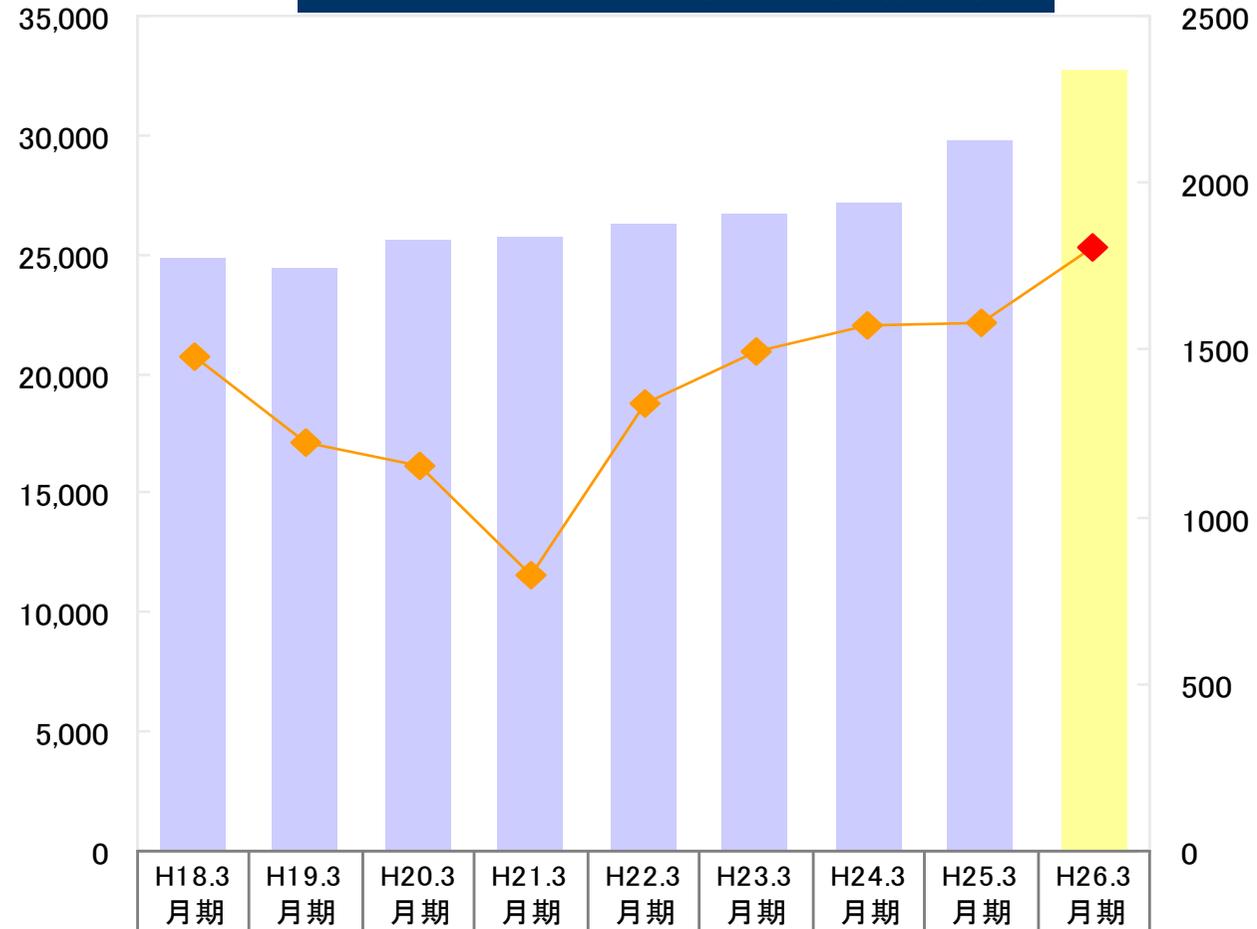
・車検台数は、オートバックス全店中、弊社学園南店がトップ。ベストテンに弊社5社がランクイン

次期計画

- ・ オートバックス車関連中心新規出店8店舗
- ・ バイクセブン2店舗出店
- ・ ガソリンスタンド、洗車、板金、車販売
拠点の増加、モール化で売上増
- ・ 車検などサービス部門での売上・利益増

(単位：百万円)

G-7・オート・サービスの売上高と営業利益の推移

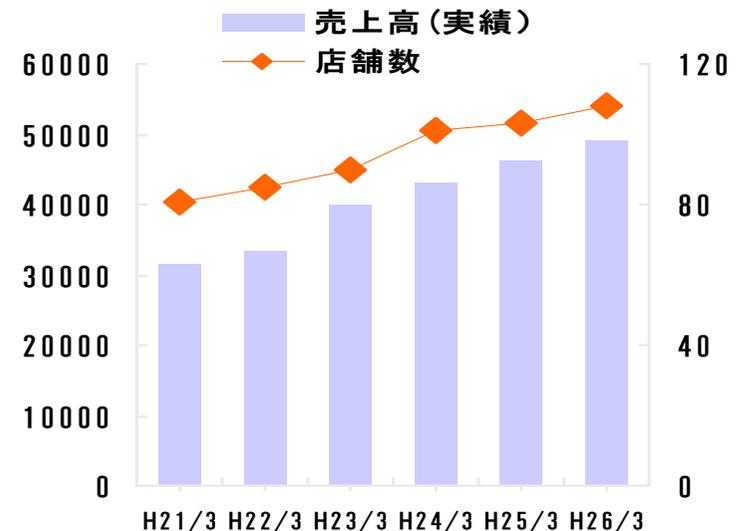


オートボックス事業売上	24,853	24,430	25,617	25,725	26,246	26,673	27,171	29,744	32,752
オートボックス事業営業利益	1,483	1,220	1,151	822	1,338	1,493	1,575	1,582	1,805

	実績	前期	増減
売上高	49,262	46,461	+2801
営業利益	1,396	1,255	+141
店舗数	106	103	4

※店舗数は業務スーパーのみ(7店舗新規出店、3店舗閉店) (単位：百万円、店舗数)

■店舗数と売上高の推移



概況

- ・業務スーパーを7店舗出店（内、1店舗移転）
 - ・業務スーパー北海道に初進出（13年12月）
- ・光熱費120%増
- ・平成26年1月1日、上野食品をG-7食品システムへ吸収合併
- ・G-7食品システムにおける得意先の新規開拓とこだわり食品の発掘が順調に進み売上に貢献

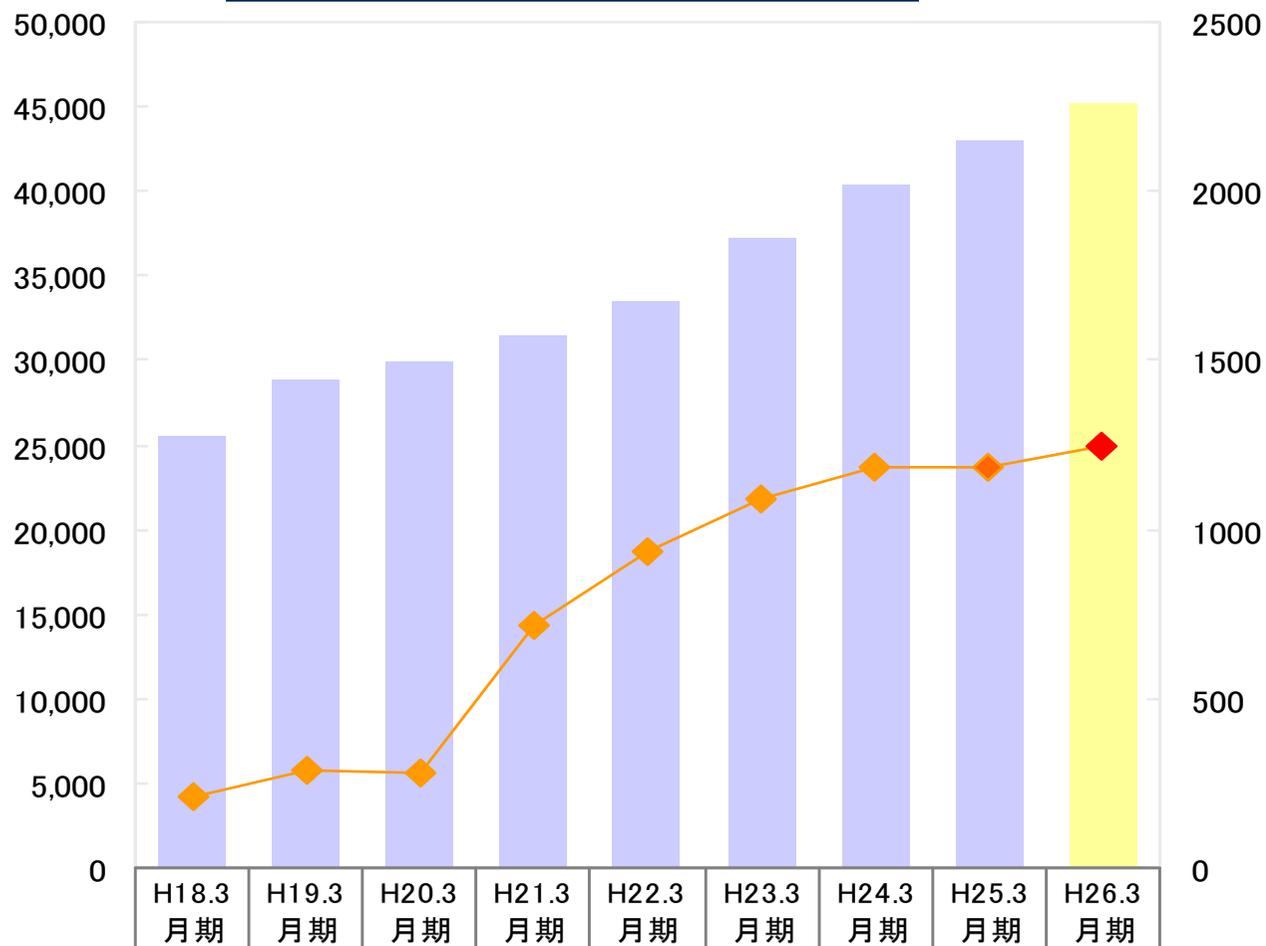
次期計画

- ・北海道5、関東2、中部2、関西1で業務スーパー出店10店舗目標
 - 4月：千葉、札幌で各1店舗、5月：札幌で店舗出店済み
- ・こだわり食品のPB商品を海外販売
 - 釜飯、ドレッシングなどをシンガポール、香港を通じ東南アジアへ

G-7スーパーマーケットの業績

(単位：百万円)

G-7スーパーマーケットの売上高と営業利益の推移



G-7スーパーマーケット売上	25,599	28,849	29,927	31,529	33,500	37,168	40,306	42,928	45,170
G-7スーパーマーケット営業利益	208	285	277	714	934	1,094	1,187	1,186	1,247

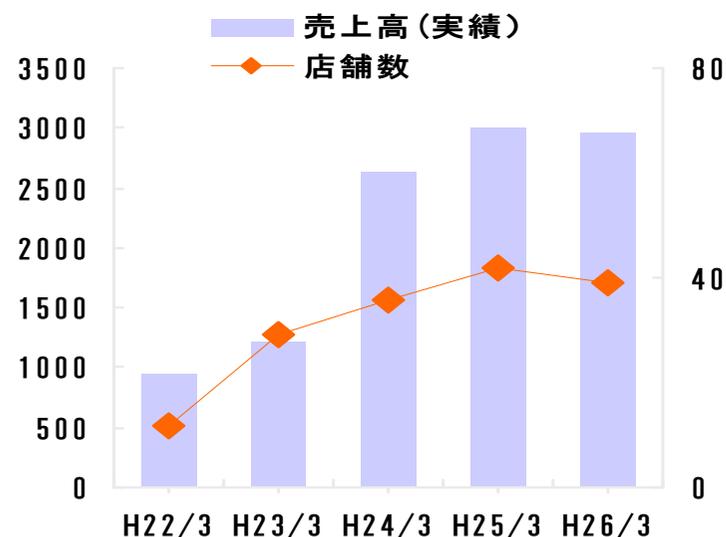
その他事業

めぐみの郷、良品買館、飲食事業など

	実績	前期	増減
売上高	2,957	3,010	-53
営業利益/損失	-62	-154	+92
店舗数	39	42	-3

(単位：百万円、店舗数)

■店舗数と売上高の推移



概況	今期計画
<ul style="list-style-type: none"> めぐみの郷の収益改善順調に推移 (業績不振店1店舗閉店、都市型店1店舗出店) リユース事業が生活防衛意識、エコ意識から伸長 ら～めん神戸マレーシアに1号店出店 nagomi事業の撤退(4店舗売却) 	<ul style="list-style-type: none"> 「めぐみの郷」を都市部に出店(4店舗) 海外でのレストラン事業 (ら～めん神戸)のミャンマー出店、マレーシアでの2号店出店 リユース事業の管理体制充実

H27年3月期予想

株式会社 G-7 ホールディングス

主力2事業の積極出店と各個別店舗の収益力の強化を図ることにより、収益のさらなる拡大を目指す

単位：百万円

	H25年3月期	H26年3月期	H27年3月期	前期比増減率
売上高	82,623	88,178	93,000	5.5%
営業利益	2,622	2,900	3,000	3.4%
経常利益	2,933	3,139	3,200	1.9%
当期純利益	1,345	1,541	1,600	3.8%
EPS (円)	110.51	126.66	131.46	+4.8
配当 (円)	34	39	30	-9

プラス要因	マイナス要因
<ol style="list-style-type: none"> 国内オートバックス事業の拡大（新規出店） 国内業務スーパー事業の拡大（新規出店） →郊外型と都市・繁華街で攻勢（<u>北海道加速</u>） <u>増税による客数増加</u> G-7モールでのシナジー効果 こだわり食品のニーズ増加（高額商品販売増） 	<ol style="list-style-type: none"> 国内外の出店コスト増 居抜き物件争奪激化による出店計画の遅延 業際を超えた食品スーパーの競争激化

店舗の出退店の実績と計画

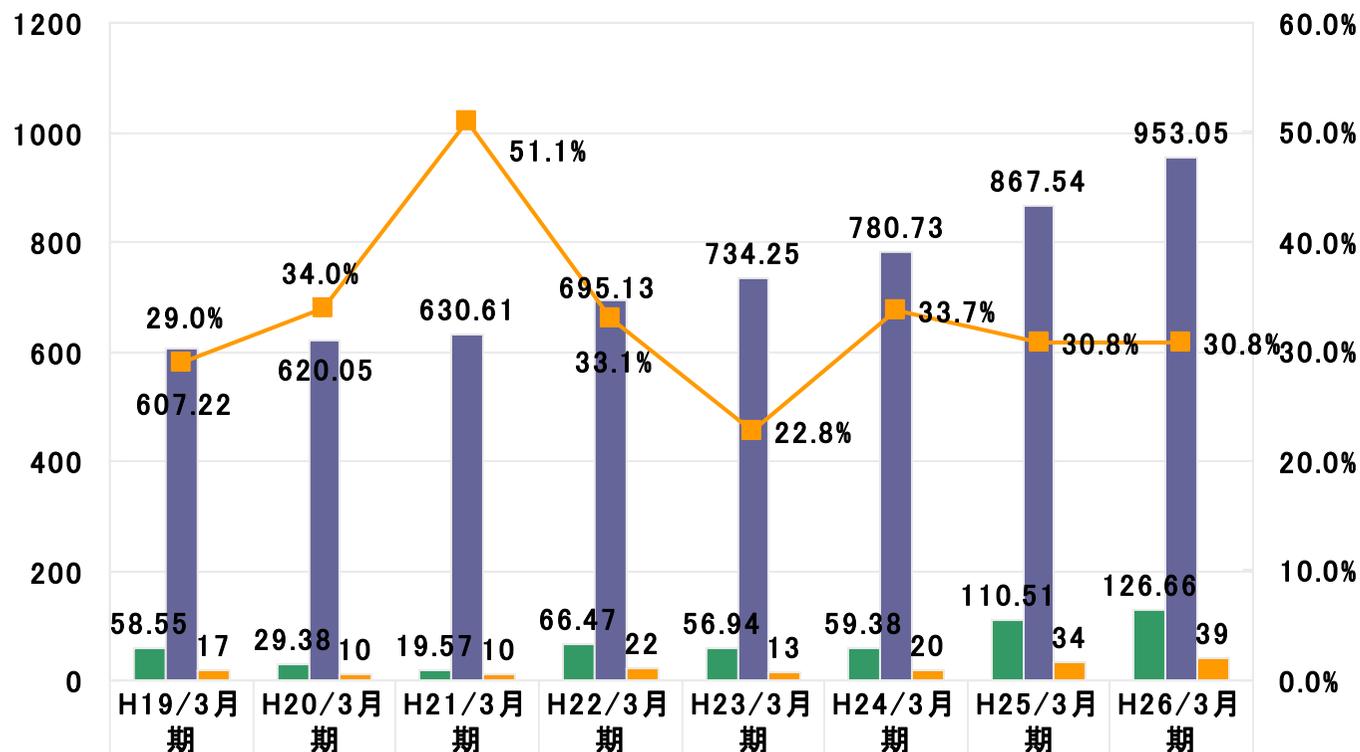
株式会社 G-7 ホールディングス

	2012年3月期末	2013年3月期					2014年3月期末	2015年3月期計画	2015年3月期末予想
		上期		2013年9月末	下期				
		新店	退店		新店	退店			
オートバックス	60	+3(国内2、海外1)		63	+3		66	8	74
タイヤ専門館	1			1			1		1
BPセンター	4						4		4
クリスタルセブン	5			5	+1		5		5
バイクセブン	8	+2(国内1、海外1)		10		-1	9	2	11
業務スーパー	103	+4	-1	106	+2	-2	106	10	116
めぐみの郷	18			18	+1	-1	18	4	22
鉄板ビュッフェ	7			7			7		7
nagomi	4			4		-4	0		0
良品買館	5			5			5		5
七つの壺	2			2			2		2
ダイソー	2			2			2		2
その他	12			12		-1	13	6	19
合計	231	+10	-1	240	+8	-9	238	30	269

12

配当について

※25年3月期は、中間配当を8円、期末配当を26円（内特別配当18円を含む）、合計34円。
 ※26年3月期は、中間配当を12円、期末配当を27円（内特別配当15円を含む）、合計39円。
 ※27年3月期は、中間配当を15円、期末配当を15円、合計30円を予定。

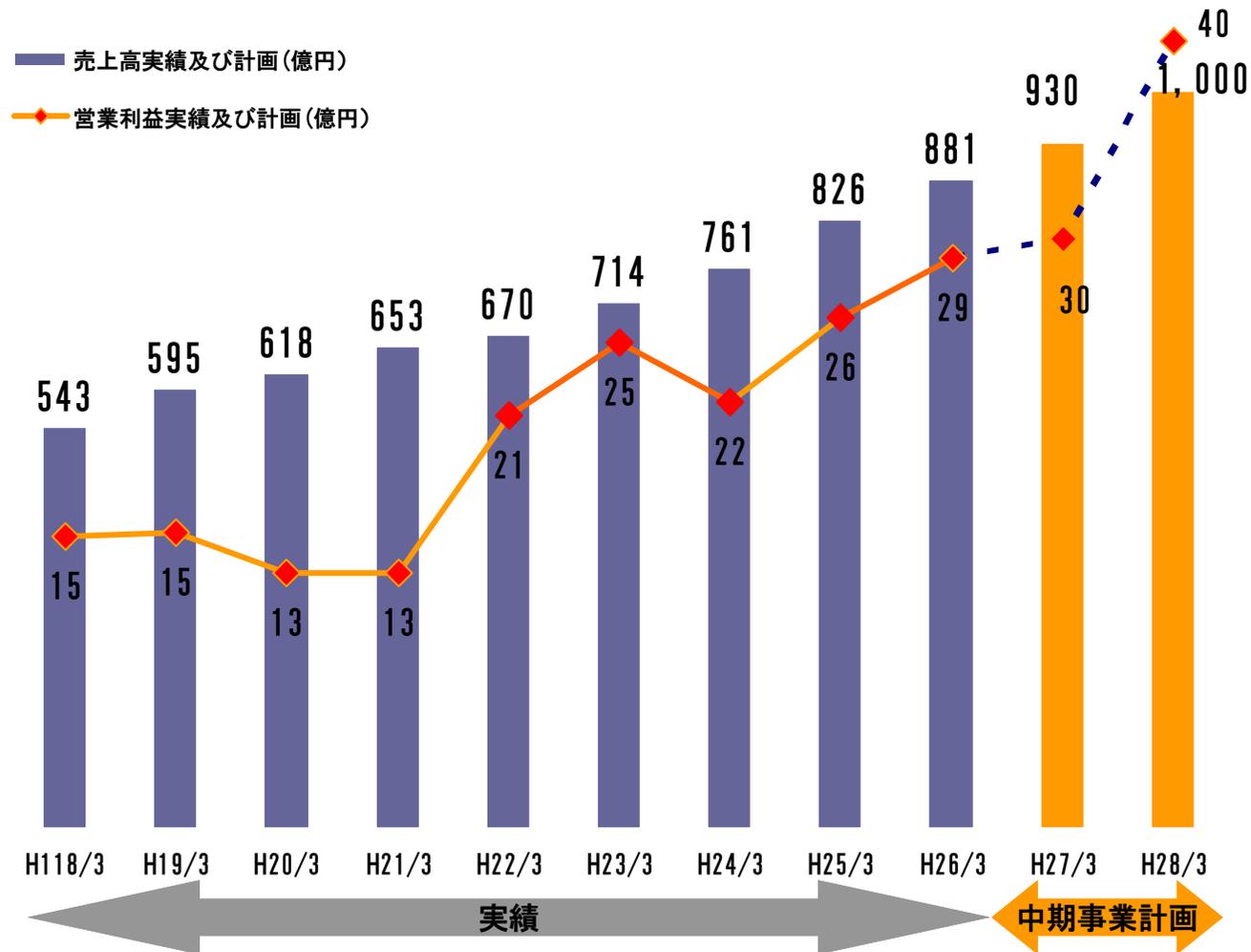


■ 一株当り当期純利益(円)	58.55	29.38	19.57	66.47	56.94	59.38	110.51	126.66
■ 一株当り純資産(円)	607.22	620.05	630.61	695.13	734.25	780.73	867.54	953.05
■ 一株当り配当金(円)	17	10	10	22	13	20	34	39
—■ 配当性向(%)	29.0%	34.0%	51.1%	33.1%	22.8%	33.7%	30.8%	30.8%

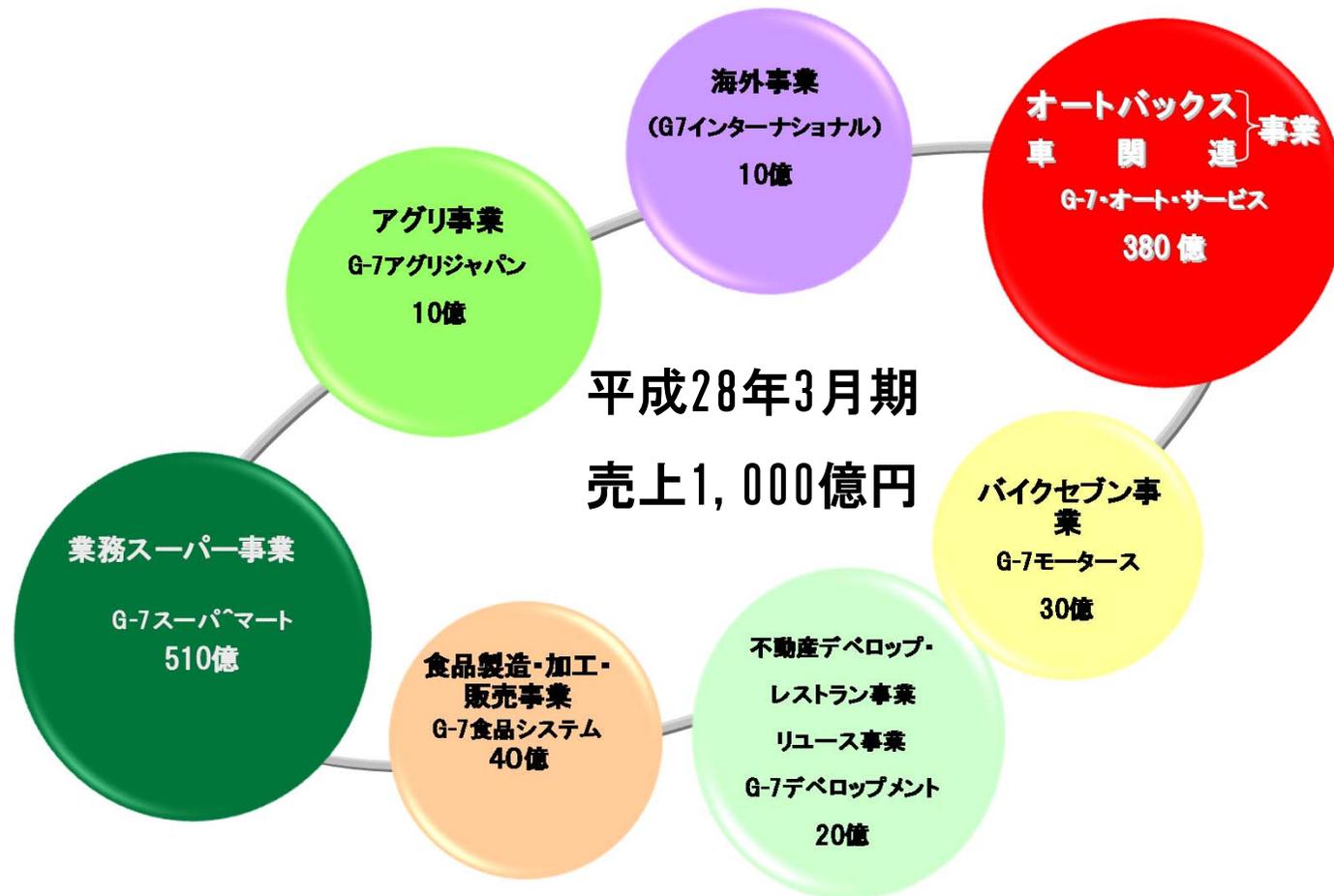
■ 中期経営計画について

業績の推移と中期経営計画

既存の底上げと新規事業で売上1,000億円へ



オートバックス、業務スーパーを中心に小売の枠を超えた事業を展開



目標は変更せず、各施策を確実に実行していく

事業	中期計画(目標)	進捗
オートボックス車関連	オートボックス関連店舗、H28/3月末で100店舗に挑戦。小商圏型店舗、M&A推進。	平成26年3月末現在で、オートボックス関連店舗は98店舗(バイクセブン含まず)。予定より早いペースで拡大が進んでいる。
業務スーパー	東京都23内、神奈川県都心に小型店を出店、28/3月末で150店舗に挑戦	平成26年3月末現在で、業務スーパーは107店舗。条件に見合う物件が少なく予定より遅れている。11月に北海道・札幌に初出店、出店地域を拡大し、目標に向かって加速する予定。今期すでに3店舗を開店。
PB開発	食品システム、旧上野食品、めぐみのさとのコラボによるPB商品の開発・販売推進	めぐみの郷において、かりんとう、ドレッシング、おかきなど開発済み。加工品を中心に順次、商品を投入していく方針で、現在の7品目を1年後には約50品目まで拡充していく計画。G-7食品を通じ、一般市場や海外への販売も行う。
良品買館、鉄板ビュッフェ	「良品買館」、「グリーンズK 鉄板ビュッフェ」の多店化	今期出店なし。既存店の内部充実と人材教育に注力している。多店化は人材が育ってから行う予定。
めぐみの郷	内部充実と関西圏に出店。関東圏においては、ミニ店舗を展開。貸農園事業にも参入	都心型店舗の実験店として昨年11月に西宮上ヶ原店をオープン。好調なため、めぐみの郷の旧店舗も徐々に都市型に変更予定。今期、都心型店舗を4店舗出店する(大阪、兵庫)目標を立てている。※都心型店舗:少し高級感のある店舗で、厳選した加工品を販売。陳列方法も高品質スーパーのように工夫をしている。
マレーシア	オートボックス及びバイクセブンのマレーシア国内での多店化、知名度UP	2014年2月に出店したラーメン店「らーめん神戸(かんべ)」は滑り出しが順調で、マレーシアでの直営店舗であと1~2店舗出店した後に、ライセンス展開による多店舗化を目指していく。車関連は今期バイクセブンを1店舗出店予定。
M&Aの推進	国内、東南アジアでのM&Aの推進、業績の拡大	2014年3月期はM&Aなし。ベトナムで現地法人を設立し、農地を取得。アグリ事業を開始(菊栽培)。またミャンマーでのいちごは順調に株分けが行われ、今期中の出荷が見込める
G-7モール展開	モール事業の推進	前期、11月に車関連のオートモールを木更津にオープン。今年4月にバイクセブンを出店しオートモールとしての形体が整いました。

■ 海外展開および新たな取り組みについて

- ・海外事業についての進捗状況(マレーシア、ミャンマー、ベトナム)
- ・海外への食品輸出について
- ・食品事業の新たな取り組み(PB開発と外販)



←オートボックス1号店
クランセントラル店

マレーシアでのオートボックス事業

- ・2012年4月にマレーシアで初となる
オートボックスクランセントラル店を出店
- ・決め細やかなサービスで現地に密着したサービス提供
- ・3年をめどに黒字化
- ・2013年8月に2店舗目を出店
(テブラウシティ店 ジョホールバル)



バイクセブン1号店
テブラウシティ店 →

マレーシアでのバイクセブン事業

- ・2013年8月にオートボックスと複合店舗型で同時オープン
- ・バイクセブン海外初出店
(テブラウシティ店 ジョホールバル)

現地でタイヤやオイル、ヘルメットなどバイクに関連する商品がすべて揃っている店舗がほかになく、週末にはシンガポールから同業者がまとめ買いにくるケースも多くみられる。



←ら~めん神戸1号店
エンパイア・ダマンサラ店



マレーシアでのら~めん神戸事業

- ・2014年2月に、海外初出店のラーメン店
ら~めん神戸エンパイア・ダマンサラ店を出店。
- ・クアラルンプールから車で約20分のショッピングモール
- ・ラーメンは醤油ベースで価格は17マレーシアリングギット(約530円)

事業会社: G7 RETAIL MALAYSIA SDN.BHD.



▲ミャンマー農場での、いちご栽培の様子

●ミャンマーでのいちご生産

・2012年6月

ミャンマー現地の流通大手・シティーマートホールディングと業務提携

・2013年11月、日本から2000株のイチゴ苗を輸出 1万株まで増やし、早ければ今年11月をに出荷を開始(シティーマートの店舗で販売)

●ベトナムでの菊生産

理由

めぐみの郷では、彼岸、お盆、年末の高需要期の売上(数量・金額共)が毎年、約30%増加。

高需要期後半には菊不足となる店舗がある。

日本国内では、**生産者の高齢化と後継者不足によって、生産量が年々減少**しており、国産菊の入手が困難になってきている。

●計画

出荷予定時期 :年4回(3月、6月、9月、12月)

出荷量 :1回3万本~4万本(年間:12万本~16万本)

販売価格 :一束300円~400円を予定

販売先 :農産物直売所「めぐみの郷」全18店舗

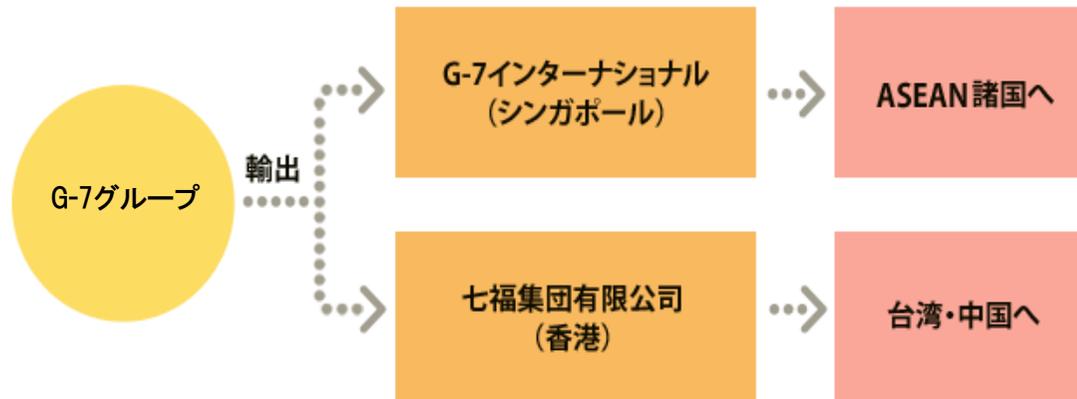


↑ベトナム農場での、菊栽培の様子

昨年末の出荷の様子→



日本の美味しく安全な食材を東南アジア市場へ



シンガポール展示会G-7グループブース



釜飯が人気を博した展示会の試食コーナー

(株)G-7 アグリジャパン

1. 農産物 | 米、果物
2. 畜産物：牛肉（冷蔵・冷凍）
豚肉（冷凍）



和牛



新潟こしひかり

(株)G-7 食品システム

1. G-7グループの加工食品卸、輸出
2. 全国のめずらしい美味しい食品の卸、
輸出



海外からも要望の
強いドレッシング



日本の伝統色として人気の高い釜めし。
既に、海外のレストランで採用されている

G-7アグリジャパン、めぐみの郷ブランドを刷新
 国内外の一般市場へ、人気のPB商品を投入。
 女性社員の声でPB商品開発の強化とスピードを加速。1年間で50品目目標。



▲めぐみの郷プライベートブランドの新ロゴ

農産物の成長の原点である「芽」をモチーフに、太陽と水(雫)を連想させる丸いフォルムを組み合わせ、自然のめぐみを受けて立派に育った農産物を取り扱うこと連想させるロゴ



パッケージを刷新した「アーモンドトーストスプレッド」めぐみの郷で1ヶ月4000個売れる人気商品



「黒酢ドレッシング」4種。5月より投入。関東の高品質スーパーでの販売が決定。

安心・安全は当たり前。割安感を売りにするのではなく、「おいしいは、しあわせ」をコンセプトに、おいしさにこだわった付加価値の高い商品を開発します。



「昔造りのおかし5種」6月より本格販売。田舎焼き、丹波大黒、えびサラダ、マヨネーズおかし、ピーミックス

「やさしい味のかりんとう」全9種類。黒糖、ピーナッツ、ほうれん草、かぼちゃ、たまねぎ、さつまいも、にんじん、わさび、ピリ辛ごぼう

■ お問い合わせ

株式会社 G-7 ホールディングス
総務部 IR・広報
森本

TEL : 078-797-7700

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

■ ご参考

会 社 名	株式会社G-7ホールディングス (G-7HOLDINGS INC.)
設 立	1976年(昭和51年)6月18日
資 本 金	17億8570万円
株 式	東証・大証1部上場(証券コード:7508)
代 表 者	代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三
本 社	神戸市須磨区弥栄台3丁目1-6 TEL:078-797-7700 FAX:078-797-7710
事 業 内 容	オートバックス、業務スーパーなどの事業を行うグループ会社の 経営戦略・管理・運営等をおこなう持株会社

- 昭和50年10月 現代表取締役会長、木下守が加古川市にカー用品専門店オートセブン加古川店を開店
- 昭和51年 7月 オートボックス大久保店を開店、以降、フランチャイジーとして積極的に出店
- 平成 8年 8月 大阪証券取引所市場第二部に株式を上場
- 平成13年 5月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 平成14年 4月 子会社株式会社サンセブンを設立、業務用食材小売販売を行う「業務スーパー」をフランチャイジーとして積極的に展開
- 平成17年 9月 東京証券取引所・大阪証券取引所市場第一部に指定
- 平成18年 4月 G-7グループ各事業会社を支配・管理する持株会社の「株式会社G-7ホールディングス」に組織・商号変更
- 平成18年10月 株式会社オートセブンがM&Aによりオートボックス2店舗を運営する福神産業を買収
- 平成18年11月 M&Aにより自動車板金塗装業等を営む(株)タカツキを買収
- 平成20年 6月 M&Aにより食品販売・FC事業を展開する(株)シーアンドシーを買収
- 平成21年12月 M&Aにより農産物直売所「めぐみの郷」を店舗展開する(株)めぐみのさとを買収。アグリ事業に参入
- 平成23年 3月 シンガポールに東南アジアの子会社を統括するG7インターナショナルを設立。海外事業展開開始
- 平成24年 4月 マレーシアにオートボックス1号店を開店
- 平成24年10月 M&Aにより高級冷凍食品の製造・卸を行う(株)コールドファミリーを買収
- 平成24年12月 グループ会社の社名変更を実施

7 (セブン)

社名の「7（セブン）」は、創業地への敬意や幸運の象徴です。創業者木下守が、1975年に兵庫県加古川市の「セブンボール」という名のボーリング場の駐車場で、カー用品の販売を開始。土地をお借りしたボーリング場の「セブンボール」と「ラッキーセブン」にあやかりました。わたしたちの「原点」を標（しる）す数字です。

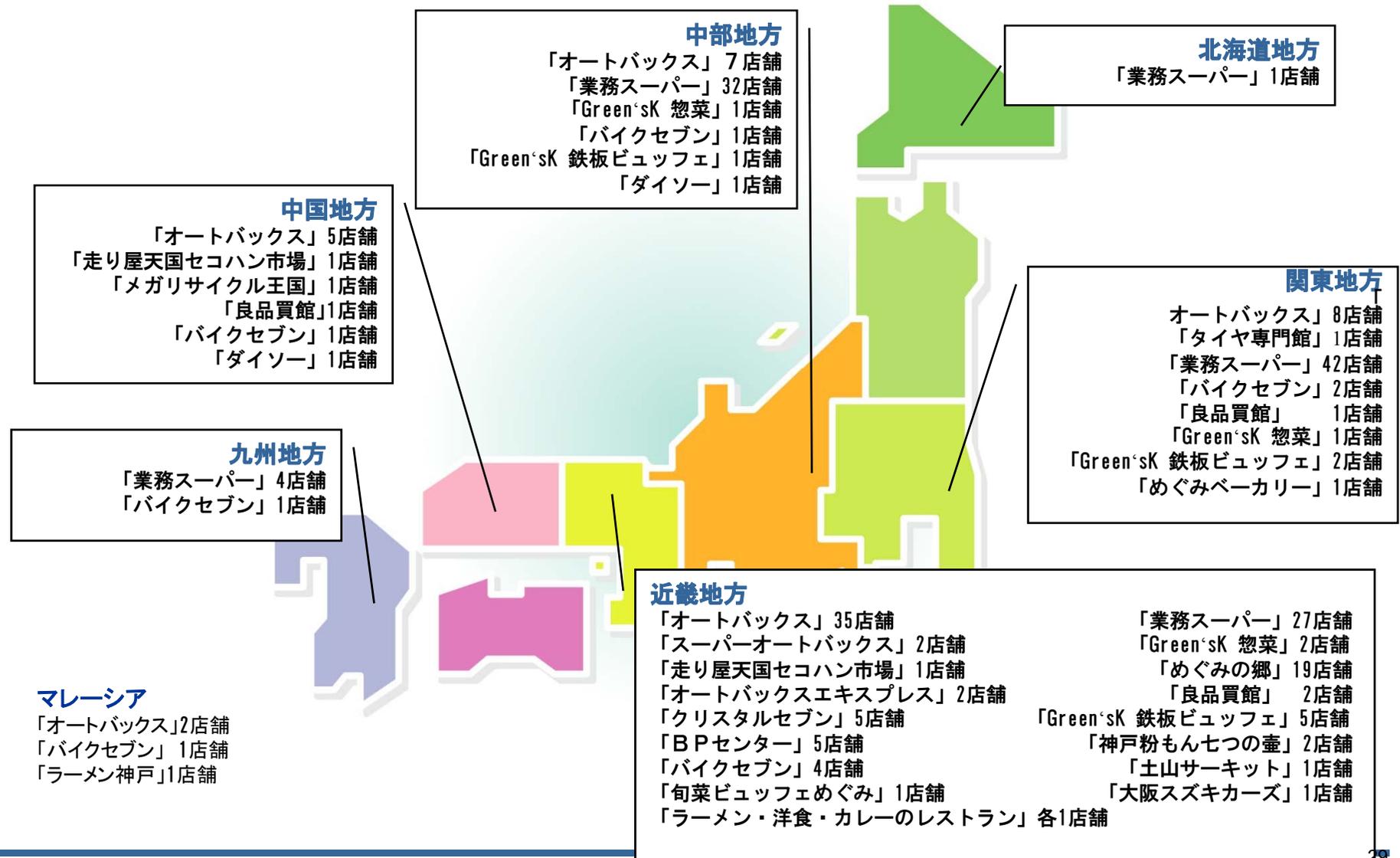
G (ジー)

「G」という総称は、わたしたちが目標とする「企業集団」をあらわす姿。国内外へ「グローバル」に成長する、「ガッツ」あふれる、活力に満ちる「グループ」を意味します。



ロゴマークで表現したのは、「芽生え」と「息吹」です。「G」と「7」を組み合わせたデザインは、植物から種子が芽を出した姿。「青」は、日本を囲む海の色。海を飛び越え、グローバルに活躍できる企業を、「赤」は、情熱の色。ガッツに満ちる、企業集団を意味しています。



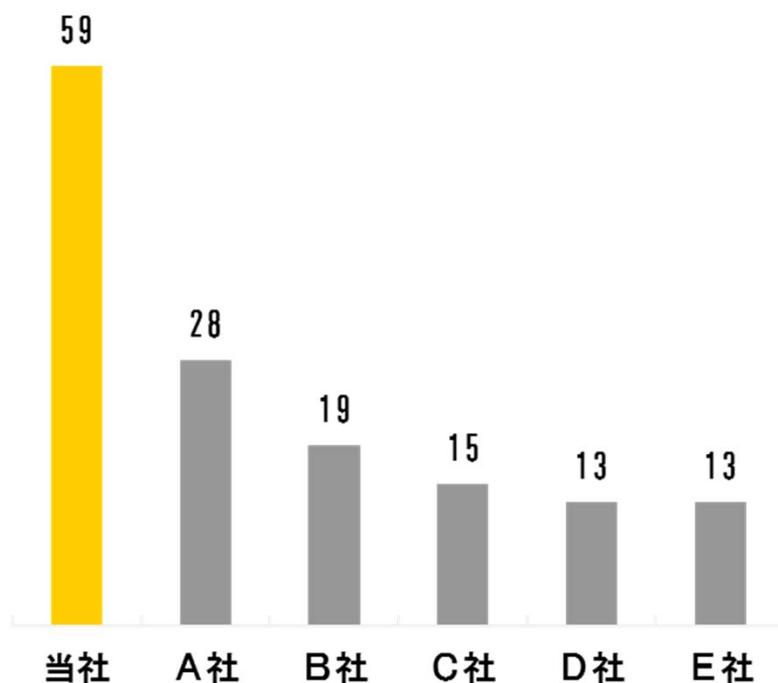


当社の特徴

「オートボックス」「業務スーパー」ともに最大の規模を誇るメガフランチャイジー

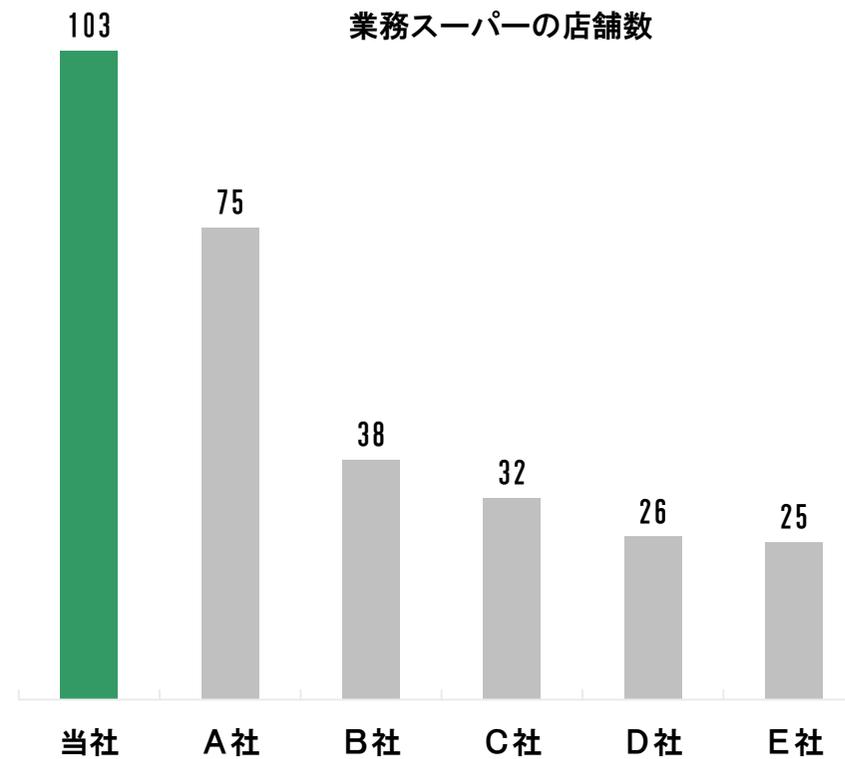
(平成25年3月31日現在)

オートボックス店舗数



オートボックス総店舗数：553店舗

業務スーパーの店舗数



業務スーパー総店舗数：631店舗

(平成25年6月28日 経MJ小売売上ランキングより)

小売全体の順位	社名	売上高(百万円)	経常利益
119位	G-7ホールディングス(連結)	82,623	2,933

■カー用品

53位	オートバックスセブン(連結)	230,168	14,472
90位	イエローハット(連結)	117,482	8,148
230位	アイエグループ	36,907	2,471
269位	G-7・オート・サービス(旧オートセブン)	29,744	1,746
342位	アイエー	19,863	721
451位	オートウェーブ(連結)	11,172	325

■食品スーパー

71位	神戸物産(連結)	157,412	4,709
211位	G-7スーパーマーケット(旧サンセブン)	42,928	1,281
212位	オーシャンシステム(連結)	42,356	776



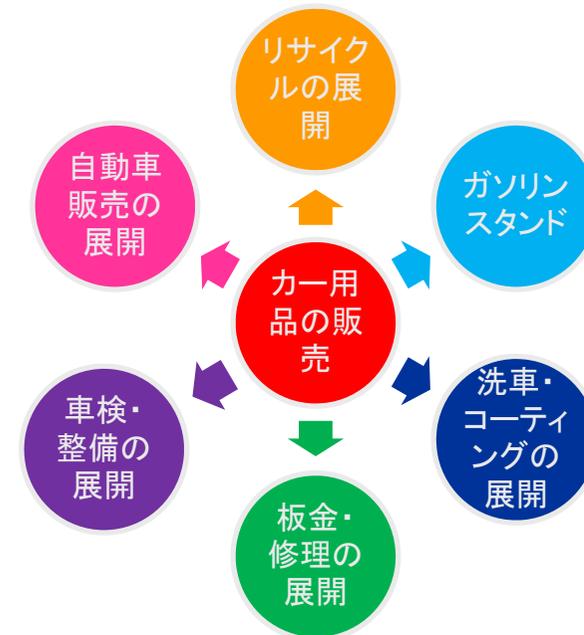
カー用品の全国ブランド「オートバックス」を中心にFC展開。FC加盟店の中で最大規模を誇っています。各種用品をはじめ、車体販売、車検、整備店などを運営しています。

●店舗形態と店舗数

- ⑩ オートバックス 59店舗
- ⑩ スーパーオートバックス 2店舗
- ⑩ オートバックスエクスプレス(ガソリンスタンド) 3店舗
- ⑩ オートバックスコハン市場 2店舗
- ⑩ クリスタルセブン(洗車・コーティング専門店) 5店舗
- ⑩ 板金集中センター 4店舗
- ⑩ カーズ車販売 9店
- ⑩ タイヤ専門館 1店舗
- ⑩ モータウン土山サーキット 1店舗

●出店地域と事業会社

- ⑩ 千葉県、茨城県、福井県、京都府、兵庫県、
- ⑩ 岡山県、広島県、マレーシア



●事業会社 G-7・オート・サービス



▲オートバックスエクスプレス



▲板金集中センター



▲クリスタルセブン(洗車・コーティング)



▲カーズ車販売



▲Bike 7 Tebrau-City (Johor Bahru Malaysia)

当社ブランドのバイク専門店「バイクセブン」を9店舗直営展開。パーツ・アクセサリはもちろん、新車・中古車販売、整備、レンタルまでの、総合サービスを提供しています。

●バイクセブンの店舗展開地域(9店舗)

関東地区(茨城県、千葉県)	2店舗
中部地区(愛知県)	1店舗
近畿地区(兵庫県、大阪府)	3店舗
中国地区(岡山県)	1店舗
九州地区(福岡県)	1店舗
マレーシア	1店舗

●事業会社 G-7モーターズ



パーツ、アクセサリ



衣類

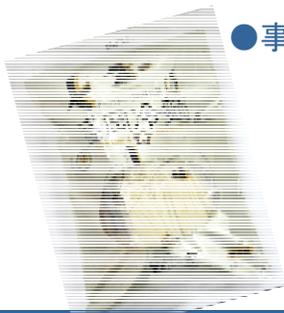


ヘルメット



●こだわり食品について
全国から厳選した食材を
高品質スーパーや百貨店に卸販売

●事業会社 G-7スーパーマート



●業務スーパーについて

- ・本部は神戸物産（東証一部3038）
- ・7～8割が一般客
- ・PBの割合は約30%

●業務スーパーの店舗展開地域（106店舗）

北海道地区	1店舗
関東地区（神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県）	42店舗
中部地区（愛知県、三重県、岐阜県）	32店舗
近畿地区（兵庫県、大阪府）	27店舗
九州地区（福岡県）	4店舗

※赤字は、独占出店権利を獲得している県

●事業会社 G-7スーパーマート

●高品質食品の取り扱い件数とアイテム 合計 3,003社、50,290社

北海道	252社	3,600アイテム	関西	729社	13,580アイテム
東北	215社	3,240アイテム	中国	244社	2,940アイテム
関東	453社	10,270アイテム	四国	181社	2,550アイテム
東海・信越・北陸	433社	7,180アイテム	九州・沖縄	496社	6,930アイテム

グロッサリー	デイリー	菓子	その他
21,900アイテム	13,500アイテム	10,500アイテム	4,390アイテム

その他事業 ①アグリ事業

株式会社 G-7 ホールディングス

その他事業・・・「めぐみの郷」のアグリ事業、「Green's K 鉄板ビュッフェ」などレストラン事業の「良品買館」のリユース事業、ダイソー事業など



農産物直売所「めぐみの郷」を展開。新鮮な安心・安全で、おいしく健康に良い農産物を中間流通をカットして、直接消費者に提供しています。また、貸農園および自社生産を行うめぐみの郷ファームを運営しています。

海外では、ミャンマーやベトナムで野菜や花の生産も始めました。



めぐみの郷の店舗で販売されている新鮮な果物、野菜、花。種類も豊富。

●アグリ事業の内容

- ・めぐみの郷の店舗展開 日本国内で18店舗
- ・無農薬の水耕栽培による野菜工場の運営
- ・貸農園および自社生産を行うめぐみの郷ファームの運営
- ・プライベートブランド商品の開発



自社ファームで育つPBの椎茸



野菜工場



純国産鳥のPBのたまご、南高梅使用の梅干、ドレッシング



●事業会社 G-7アグリジャパン

その他事業 ② レストラン事業

株式会社 G-7 ホールディングス

① その他事業・・・「めぐみの郷」のアグリ事業、「Green's K 鉄板ビュッフェ」などレストラン事業の「良品買館」のリユース事業、ダイソー事業など



●Green's K 鉄板ビュッフェ

Green's K 鉄板ビュッフェは、鉄板焼き料理のビュッフェレストラン。ご自分の席で鉄板料理を作って楽しんでいただくスタイルです。好きなメニューが食べ放題のランチやディナーをご用意しています。



●お好み焼専門店「神戸粉もん 七つの壺」

当社ブランドのお好み焼専門店「神戸粉もん 七つの壺」を直営展開。神戸っ子に愛されてきた本場の味を、気軽に楽しんでいただけます。



●旬菜ビュッフェめぐみ

ビュッフェスタイルの野菜料理のレストランです。農産物直売所で販売されている地元農家から仕入れた新鮮野菜を使用。店内の植物工場で育てた野菜サラダも食べることができます。



▲ラーメン



▲カレー



▲ハンバーグ

●店舗形態と店舗数

Green's K 鉄板ビュッフェ 8店舗
(兵庫3店舗、大阪2店舗、三重1店舗、千葉2店舗)

お好み焼専門店「七つの壺」2店舗(兵庫)

旬菜ビュッフェめぐみ 1店舗(兵庫)

中華そば「神戸」 1店舗(兵庫)

ラーメン「大将」 1店舗(兵庫)

ハンバーグ・洋食「七福亭」 1店舗(兵庫)

ら～めん神戸 1店舗(マレーシア)

●事業会社

株式会社G-7デベロップメント(国内)

G7 RTETAIL MALAYSIA SDN. BHD.
(マレーシア)

その他事業③ リユース事業

⑩ その他事業・・・「めぐみの郷」のアグリ事業、「Green's K 鉄板ビュッフェ」などレストラン事業の「良品買館」のリユース事業、ダイソー事業など



「良品買館」



「メガリサイクル王国」

●リサイクルの店舗展開地域

千葉県 1店舗

兵庫県 2店舗

岡山県 2店舗

●事業会社：G-7デベロップメント

ブランド品、AV機器、生活雑貨、家具、ファッション、家電、スポーツ、楽器、ゲーム、おもちゃ、子供、オフィス用品など「生活に密着した商品」を取り扱う総合リサイクルショップを「良品買館」と「メガリサイクル王国」を展開しています。



家電



衣類



家具



ブランド品

その他事業④ ダイソー事業

株式会社 G-7 ホールディングス

- ⑩ その他事業…「めぐみの郷」のアグリ事業、「Green's K 鉄板ビュッフェ」などレストラン事業の「良品買館」のリユース事業、ダイソー事業など



G-7ホールディングスがデベロッパーとして開発する拠点に、グループが運営する複数の店舗を集約する「モール化」を加速し、集客力の強化を図っています。

その一環として、100円均一ショップ「ダイソー」を展開する株式会社大創産業のフランチャイズに加盟しました。

平成25年3月、「G-7モール岡山久米」にダイソー1号店となる岡山久米店をオープン、2号店として「G-7モール名古屋みなと」に名古屋みなと店をオープンしました。これにより、既存店舗への来店頻度の増加と新たな客層の取り込みによる集客を期待しています。

●ダイソーの店舗展開地域

愛知県 1店舗

岡山県 1店舗

●事業会社：G-7デベロップメント



大型物件にG-7モールとしてグループの店舗やテナントを入れて、より集客の増す、モール事業に力を入れています。2014年3月現在、グループ店舗が複数集合する拠点は17拠点あり、その名称を「G-7モール」に統一しています。

G-7モール姫路東	スーパーオートバックス、オートバックスエクスプレス、クリスタルセブンの複合モール(駐車台数256台)
G-7モール花田	業務スーパー、Green's K 鉄板ビュッフェ、丸亀製麺、ホームセンター「モリス」の複合モール((駐車台数77台)
G-7モール土山	オートバックス、BPセンター、クリスタルセブン、バイクセブン、ガソリンスタンドの複合モール(駐車台数505台)
G-7モールべふ	オートバックス、Green's K 鉄板ビュッフェ、カットハウスの複合モール(駐車台数74台)
G-7モール高砂	オートバックス、ドラッグストア、快活クラブの複合モール(駐車台数202台)
G-7モール学園南	オートバックス、めぐみの郷、お好み焼き「七つの壺」、得得うどんの複合モール(駐車台数230台)
G-7モール舞多聞	和食「和平」、焼肉「ワンカルビPlus」、マクドナルド、びっくりドンキー、めしや食堂、お好み焼き「わらい」の複合モール(駐車台数178台)
G-7モール塩屋北	オートバックス、オートバックスエクスプレス、クリスタルセブン、業務スーパー、めぐみの郷、丸亀製麺の複合モール(駐車台数175台)
G-7モール須磨北	スギ薬局、お好み焼き「偶」、ビデオレンタル「ゲオ」、古着買取、酒のサンリカーの複合モール(駐車台数102台)
G-7モール北六甲	オートバックス、カラオケ、焼肉「牛太」、アルカドラッグ、ローソンの複合モール(駐車台数121台)
G-7モール篠山	オートバックス、めぐみの郷の複合モール(駐車台数115台)
G-7モールひよどり台	業務スーパー、酒のサンリカー、めぐみの郷、野菜工場、旬菜ビュッフェ「めぐみ」、ガスト、お好み焼き「七つの壺」、カレー、ラーメン、ハンバーグの複合モール(駐車台数220台)
G-7モール西脇	オートバックス、クリスタルセブン、かっぱ寿司、100円ショップ「セリア」の複合モール(駐車台数300台)
G-7モール千葉ニュータウン	オートバックス、業務スーパー、Green's K 鉄板ビュッフェ、リサイクルショップ「良品買館」の複合モール(駐車台数251台)
G-7モール名古屋みなと	バイクセブン、バイク王、業務スーパー、100円ショップ「ダイソー」(駐車台数201台)
G-7モール岡山久米	リサイクルショップ「メガリサイクル王国」、100円ショップ「ダイソー」の複合モール(駐車台数170台)
G-7モール木更津金田	オートバックス、オートバックスエクスプレス、クリスタルセブン、バイクセブンの複合モール(駐車台数380台)